

# 美々津中学校便り

5月号

文責：鈴木利明（校長）

新年度がはじまり約2ヶ月になります。コロナ禍の影響を受けて、思うように活動が出来ていません。特に部活動では、制限があり、公式戦も中止の連続、練習試合も他地区とは出来ない状況が続いています。しかし、そんな中でも子ども達は、一生懸命に練習を重ね、6月の中体連に向けて頑張っています。昨年延期になったスケッチ大会も、中止になった生徒総会も実施することができました。

先月の終わりに、毎月実施している「学校生活アンケート」をとりました。その中で、気になったのが、言葉についてです。日頃発する言葉の中で、「嫌な言葉を時々聞いた」という声が多くありませんでした。「人の嫌がるような言葉を言っていない」という回答が多い中、「聞いた」という回答が多いというのは、自分が発した言葉によって、相手が嫌な想いをしているという意識が少ないのではないのでしょうか。

そこで、言葉について日頃から習慣として使って欲しい言葉があります。まず、考え方や行動の習慣を変える第一歩目は、無意識で発する心の中のつぶやきや言葉を変えることです。

ヒューマンウェア研究所の清水英雄さんと言う方が提唱されている言葉に「明元素(めいげんそ)」と「暗病反(あんびょうたん)」という言葉のくくりがあります。

明元素とは、その字の如く明るく元気で素直なポジティブな言葉。

暗病反とは、その字の如く暗く病的で反抗的なネガティブな言葉。

同じ状況でもどちらの言葉を使うかによって、その後の結果が大きく変わってくるものです。まずは無意識レベルでの心の中のつぶやきや言葉をチェックし、意識的に明元素を使っていくよう心掛けたいものです。

生きていればいろんなことに直面します。どのような事に対しても明元素を使い続けることにより、いつかは必ず「現状打破」につながり、その後の人生が大きく好転していきます。私も含め今までそんな方をたくさん見てきました。意識して「明元素」の言葉を使い続ければ、人や物にも優しくなれます。そして、笑顔もセットで付いてきます。素敵な仲間も多くなります。

「明元素」と「暗病反」皆さんはどう感じられるでしょうか？

参考資料：小林一光の個人ブログ「一日一生」

- ・忙しい
- ・疲れた
- ・どうしよう
- ・いやだ
- ・困難だ
- ・難しい
- ・やってられない
- ・できない
- ・やりにくい
- ・つらい
- ・苦しい
- ・つまらない
- ・ダメだ
- ・不幸だ
- ・もう年だ
- ・まずい
- ・どうせ
- ・どうでもいい



☆ ネットでも調べてみてください。

- ・ありがとう
- ・充実している
- ・お元気さま
- ・簡単だ
- ・できる
- ・やってみよう
- ・頑張ります
- ・努力します
- ・挑戦します
- ・楽しい
- ・うれしい
- ・おもしろい
- ・すばらしい
- ・美しい
- ・まだ若い
- ・おいしい
- ・すてきた
- ・きれいだ

## スケッチ大会 (5月14日) 美々津の町並み

例年より早い梅雨入りとなり、天候が心配されましたが、なんとかスケッチ大会を実施することができました。スケッチ大会は、ほとんどの中学校で実施されなくなりましたが、本校では、美々津の町並みを大切に、いつまでも残していきたいという思いから、実施しております。



## 生徒総会 (5月20日)

生徒総会を実施しました。5月6日、12日、17日と3回の学級討議を経て、「よりよい美々津中を目指して」と題して話し合いを進めてきました。当日も「学力向上」と「学校での過ごし方」について活発な意見が出され、学校をよくしていきたいという生徒の思いが伝わってきました。生徒が中心になっての生徒会だからこそ、色んなことに挑戦して、地域から愛される学校を目指しましょう。



## タブレットの授業開始

タブレットを使った授業がはじまりました。全校生徒に一台ずつ配付され、授業での調べ物や資料作りなどに使用します。何でもそうですが、はじめは、分からない事ばかりです。使えば使うほど慣れていきます。正しい使い方をして、優しく取り扱ってください。そして、色々な事を学ぶことで、学力を含め、創造する力もつけてください。

